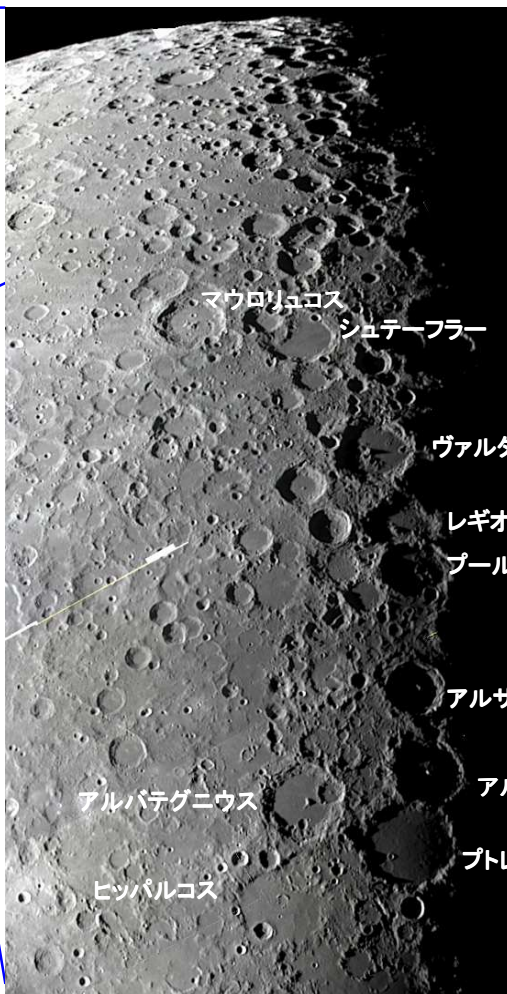
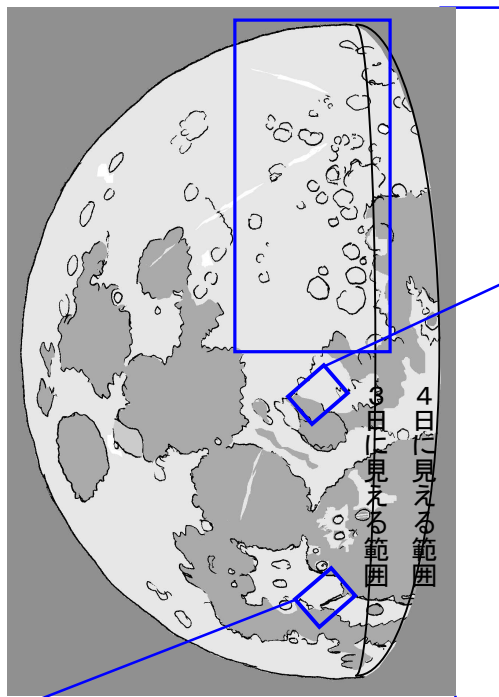


第6回ご近所天体観望会 「月と木星」

2011年12月

半月の頃には大きなクレータが たくさん見えます。



2009年5月2日12時6分(UT)



2009年5月2日12時13分(UT)

月にはクレータの他にも 崖や谷、割れ目など、変化に富んだ地形がいろいろあります。

天体望遠鏡で見ると、上下がさかさま。月面図や写真は南を上にしてあります。

夕方、東の空に輝いているのは木星。

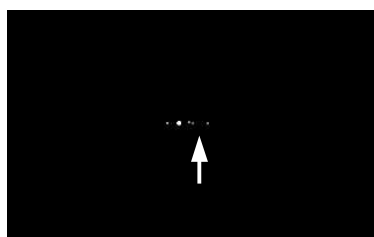
今、地球に接近中で大きくて見ごろです。

木星には縞模様があり、常に変化しています。2010年には南側の太い縞(→)が消えましたが、2011年に復活し、今は見えています。



2009年8月16日15時2.0分(UT)

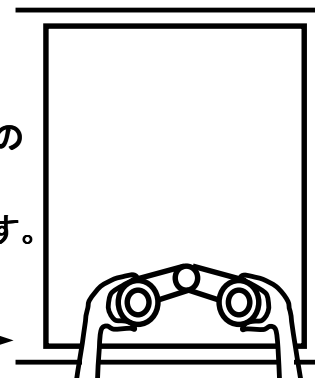
大きな衛星4つは、口径4cm位の小望遠鏡でも十分確認ができます。毎日位置が変化し、1週間位 続けて観察すると、木星の周りを回っている様子が判ります。



双眼鏡でも7~10倍であれば月のクレータや、木星の丸みは見るができます。

← 小さい木星のすぐそばに衛星も見ることができます。

三脚などに固定できない場合は、手首やひじを窓枠などに当てて支えます。



前回10月8日に実施した観望会の様子は、東亜天文学会HPの月面掲示板に掲載されています。

<http://zetta.jpn.ph/OAA/msgbd01.asp> を是非ご覧下さい。

東亜天文学会 月面課 長谷部 孝男

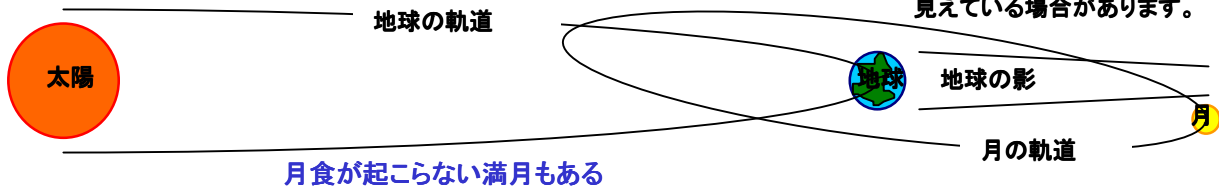
12月10日(土)には皆既月食があります。

月食はいつも同じではなく、ほとんど見えない位に真っ暗だったり、赤くはっきり見えたりするので、よく観察すると楽しいと思います。

月食は太陽-地球-月の順に並んだ時に起こります。この並びの時は満月ですが、満月に毎回月食は起こりません。月の軌道と地球の軌道が少し傾いているので、影に月がすっぽり入るのは1年に2回程度、日本で見られるのはその半分くらい。



その時々によってほとんど見えない暗い場合や、赤く明るく見えている場合があります。さて今回は？



満月→21:45頃半影→23:05頃から23:58頃まで皆既月食→25:18頃満月にもどる (時刻は日本時)